

～ 豊かな学びの実現 ～

園芸科学科の生徒が先生役に フラワーアレンジメントで保育園児に花育活動

花の飾り付け 園児笑顔

西条で 丹原高生がアドバイス
体験会



丹原高生(左)が講師となって、園児と交流を深めたバラアレンジメント体験会

丹原高校園芸科の2年生23人が講師となり、フラワーアレンジメント作りの楽しさを伝える体験会が10日、西条市三津屋南のふじ保育園であり、園児51人がバラを飾り付け、花の魅力に触れた。

丹原高校園芸科の2年生23人が講師となり、西条地区青年農業者連絡協議会花き実践班と県東予地方局が開催した。生徒は体験会に先立ち、実践班と3日に交流し、植物の特徴や農業経営などについて学んだ。多肉植物を生産販売する「Saiki Engei」(同市丹原町石経)や、バラを水耕栽培

するヤマサファーム(同市丹原町高松)のハウスを見学後、アレンジメントを体験。花の挿し方やきれいな見せ方のコツを身に付けた。10日は年中、年長の園児にバラのアレンジメントを作ってもらった。生徒は「大きい花は中央に挿すと形が作りやすい」「隙間なく挿すときれいに見える」とアドバイス。園児も「上手にできた。お母さんにプレゼントしたい」「赤色の花をもっと使いたい」などと楽しんでいった。生徒の武智菜さん(16)は「自由な発想でアレンジメントする楽しさが伝わっていたらうれしい」と振り返り、橋本心愛さん(16)は「花を通じて地域住民と交流する大切さを学んだ」と話した。

(伊藤義樹)

日頃の農業学習を生かして、地域に貢献

園児の皆さんの笑顔で、生徒たちも楽しみながら、農業学習に取り組めました。ありがとうございます。
生徒たちは、自信と誇りを持って、農業学習に取り組んでいます。